

10月1日：流動性の改善とともに反発

火曜日の株式市場は反発、大型株への資金流入によって流動性が改善した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.3%上昇し999.59ポイントで取引を終えた。

月曜日には0.13%ほど下落していた。

出来高は2億1000万株で売買代金にして6.3兆ドン(2億6900万ドン)であった。

大型株が指数を牽引した。VN30指数は0.37%上昇し926.31ポイントで取引を終えた。

主な上昇銘柄はベトコムバンク (VCB) (+1.6%)、ベトナム投資開発銀行 (BID) (+1.5%)、テクコムバンク (TCB) (+1.7%)、VPバンク (VPB) (+1.4%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (+1.1%)、バオベトホールディングス (BVH) (+1.2%)、ベティンバンク (CTG) (+0.7%)、マッサングループ (MSN) (+0.4%)、ビンググループ (VIC) (+0.1%)、ペトロリメックス (PLX) (+0.2%)などであった。

証券セクターも資金が流入した。SSI証券 (SSI) は0.7%高、ホーチミン市証券 (HCM)は1.9%高、サイゴンハノイ証券は2.4%高、バオベト証券も1.8%高だった。

セクター別では、保険、不動産、証券、銀行、IT、農業、水産加工、建設、建設資材、小売などが上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.76%上昇し105.85ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日にも0.27%上昇していた。

出来高は3300万株で売買代金にして6053億ドンであった。

バオベト証券によると、1000-1005ポイントの抵抗線に突入するとみられる、前回はこの領域で大きな売り圧力に見舞われ、跳ね返される形となった。

しかしながら、指数はこの領域を抜け、上に向かうと期待してい。楽観的なシナリオで行くと、指数は1014-1024ポイントの領域まで向かうだろう。この領域では、売り圧

力が高まり、指数を1000ポイントまで押し下げるかもしれないとBVSCはデイリーレポートで報じた。

上場企業は第3四半期決算を10月に発表する。好決算が期待されているのは銀行、小売、不動産、電気、ゴムなどである。

BVSCによると、株への投資比率は45-50%に留めるべきであるとのことだった。

株式投資比率の高い投資家は、ラリーの間に安全な比率まで比率を下げるべきである。もしも指数が1000-1005ポイントを抜ければ、株への投資比率を高めたり売った銘柄を買い戻すことを考えるべきだと語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。